

2008.9.9

知的情報の読み方について

野村幹弘

参考文献：知的情報の読み方 水曜社 妹尾堅一郎 2004年

以下にポイントを記す。詳細は原著を参考にされたい。「日本語の作文技術」は文章表現のポイント、「理科系作文技術」はレポート（論文）作成のポイント、「ロジカルシンキング」は説得のため（相手を納得させるため）の論理構成のポイントを記してある。

この本には、論理構成のための情報収集、理解を助けるアイデアが詰め込まれている。詳細は原著を参照されたい。

プロローグ

◎そして、読めずにできるヤツはいない、のだ。(12p)

第1章 情報の価値は読み方しだいでこんなに変わる

◎ビジネス情報の基本はデータだ(19p)

1. 自分なりの視点・視野・視座が不可欠
2. ただし、ある「読み方」を知っていると、その読み方しかできなくなってしまう点に注意

学生実験では、ある程度は予想された結果が得られる。そこで、過去レポートなどに記されている「読み方」で満足すると、「自分なりの視点・視野・視座」を訓練するチャンスをのがす。

第3章 統計でリアリティを実感する

多変量解析の具体的な計算方法よりも、むしろ、なぜ多変量解析を行うのか、そこから出てきた分析結果にはどんな意味があるのかを知ることの方が、はるかに重要である。(99p)

学生実験のレポートの調査でも、(多変量)解析後のデータを取り扱っているものも多いであろう。分析結果の意味を知るとは非常に重要である。(逆説的になるが、そのためには、ある程度以上、計算方法、解析方法についても理解はしなければならない。)

◎統計には罠がある？ (104p)

1. 基準値や平均値をどこに取るか
2. 価値観の違いに基づく操作
3. 恣意的な解説

レポートを見ると3番目の(恣意的な)解説に引っかかる人が多い。一般的に、ウェブなどで得られる情報は、情報提供者(書き手)の意図が込められている。(君たちの目的と情報提供者の目的がたまたま一致した場合を除いて)データをちゃんと見ずに、解説を鵜呑みにするのは危険である。

第4章 図・表はサブシステムとして徹底

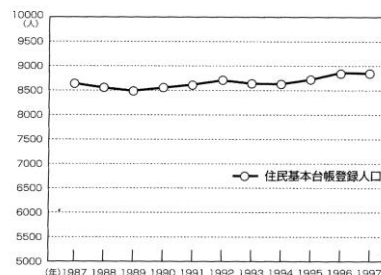
活用する

◎危険な「わかったつもり」(112p)

右図は、どちらも同じデータである。しかし、一見した印象は大きく異なる。グラフの軸は、君たちの意図を込められる部分である。



グラフ1



グラフ2

第6章 ウェブサイトを創造支援ツールとして使う

◎ウェブ検索の落とし穴とは？（179p）

1. ケアレスミス
2. 知識不足
3. 一次情報や公式な根拠の軽視
4. 情報鮮度の確認を怠る
5. 調査範囲の確認の手抜き

この部分は、将来にわたっても役に立つ部分である。ぜひ、原著の例を理解して、身につけて欲しい。

第7章 専門知識をおいしく読むには

◎五つの工夫で理解度を高める（233p）

1. まず読む。ともかく読む。汚しても読む
2. 汚したところを読み直す
3. 内容を整理する
4. コンセプトを抽出する
5. 他者に教える
6. 批判する

この章は、4年生から大学院生くらいの学生に重要な部分であると思われる。卒業論文、修士論文作成の助けになればと思っている。

以上